

かんたんシリーズ かんたん配管継手 かんたんスライド管 で 電線類地中化工事をスピードアップ！

電線類の地中化工事のさらなる推進に向けて、工期短縮とコスト縮減が求められています。クボタケミックスの「かんたん」シリーズは、管端処理と差し込み配管の簡単施工を実現することで施工時間の短縮を実現。かんたん配管継手は曲管の使用を削減することで、コスト縮減も実現します。電線類地中化工事のスピードアップとコスト縮減にぜひお役立てください。

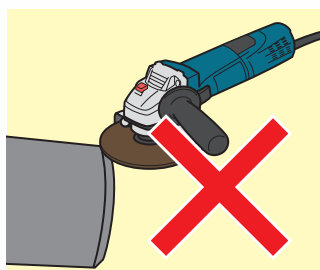


かんたんシリーズ
共通の特長

特長1 管端処理が「かんたん」

切管した時の管端処理は、面取り作業なしで接合できます。ボディ管の面取り作業が不要となり、ディスクグラインダーの作業を減らせます。「安全性の向上」「作業環境の改善」につながります。

※FA100、150は内面取り（30°）が必要です。



面取り不要



▲かんたん配管継手



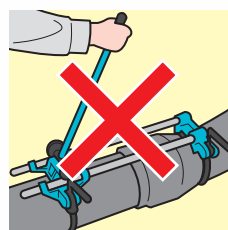
▲かんたんスライド管

特長2 差し込み配管が「かんたん」

滑剤と挿入機は不要で、SUSバンドで締めるだけで配管が完了します。



滑剤不要



挿入機不要

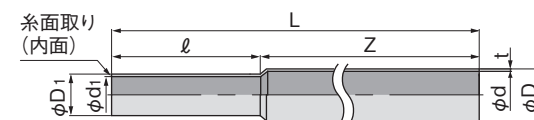
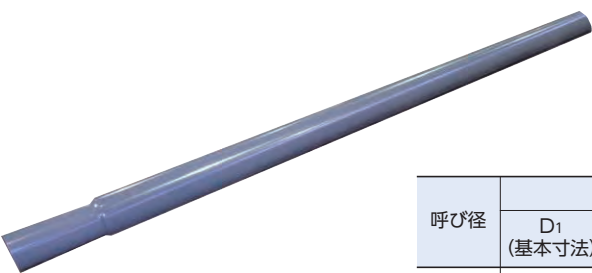


関連製品

さや管 やりとり継手

品番 8711

共用FAボディ管の対向配管が「かんたん」



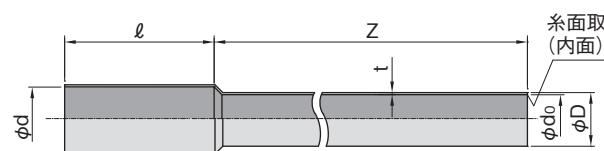
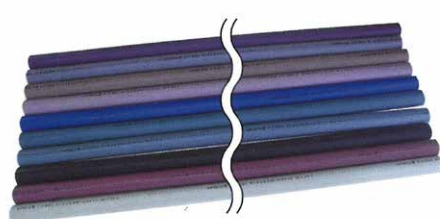
呼び径	差口および管体部				受口部			全長 L (参考)
	D ₁ (基本寸法)	d ₁ (参考)	ℓ (参考)	D (基本寸法)	d (参考)	t (基本寸法)	Z (参考)	
30	34.0	30	110	39.0	35	2.0	1500	1610
50	54.0	50	110	60.0	56	2.0	1500	1610

単位：mm

カラー軽量さや管 K-SU

品番 1205

さや管の識別が「かんたん」



呼び径	差口および管体部			受口部		有効長 Z (参考)	管の色
	D (基本寸法)	t (基本寸法)	d ₀ (参考)	d (基本寸法)	ℓ (参考)		
30	34.0	1.5	31	34.8	110	1100	グレー・黒・赤・緑・黄緑 青・茶・紫・薄紫・薄緑
50	54.0		51	54.9		5000	

単位：mm

※さや管Z=1100mmは、ロータス管内に使用します。

⚠ 本カタログに記載の製品のご使用にあたっては、ケーブル保護管カタログ(E00)に記載の「使用上の注意事項」をお読みいただき、必ずお守りください。

●お守りください。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

株式会社クボタケミックス

本社 ☎661-8567 尼崎市浜一丁目1番1号 ☎(06)6470-5970
 東京本社 ☎104-8307 東京都中央区京橋二丁目1番3号 ☎(03)3245-3085
 北海道支店 ☎060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番54 ☎(011)214-6291
 東北支店 ☎980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目6番1号 ☎(022)267-8955
 中部支店 ☎450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号 ☎(082)207-0596
 中国支店 ☎732-0057 広島市東区二葉の里三丁目5番7号 ☎(082)207-0596
 九州支店 ☎812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目2番8号 ☎(092)473-2453
 北陸営業所 ☎920-0022 金沢市北安江一丁目11番7号 ☎(076)223-2520
 四国営業所 ☎760-0050 高松市亀井町2番地1 ☎(087)836-3908
 沖縄営業所 ☎900-0016 那覇市前島三丁目1番15号 ☎(098)860-7115

詳しくは……
ホームページ 製品情報 / トピックス / 電子カタログ閲覧 /
 資料ダウンロード / Q&A / 広報誌「PAL」
<https://www.kubota-chemix.co.jp>



※当カタログに記載の内容は、製品改良のため予告なく変更することがあります。
 また許容差のない数値は標準値とします。
 ※製品写真の色は印刷のため、実際とは若干異なります。

No. E 0 9 - 0 1 (23.7.1.1)
 23.10.1. IN.BS

クボタケミックス

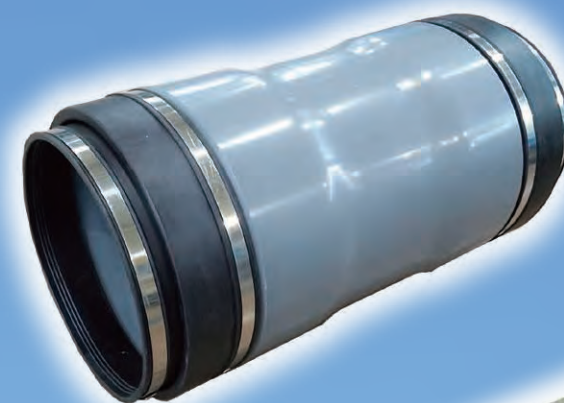
電線共同溝向けSUSバンド固定式管路材

「かんたんシリーズ」



かんたん配管継手

施工の省力化と低コスト化を実現！



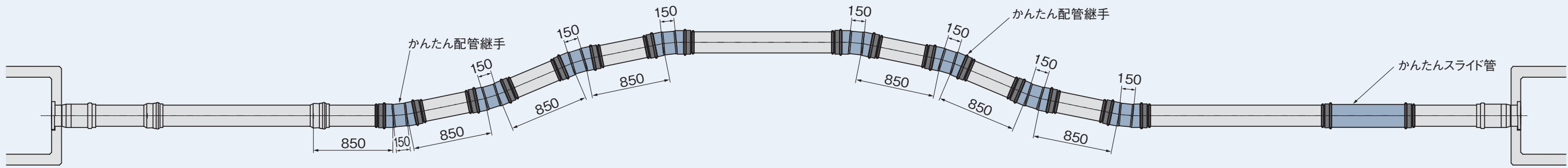
かんたんスライド管

ボディ管の接合時間を短縮！

NETIS に登録されました！

新技術名称：かんたんスライド管
 (SUSバンド固定式スライド管)
 登録番号：KT-230323-A

配管例

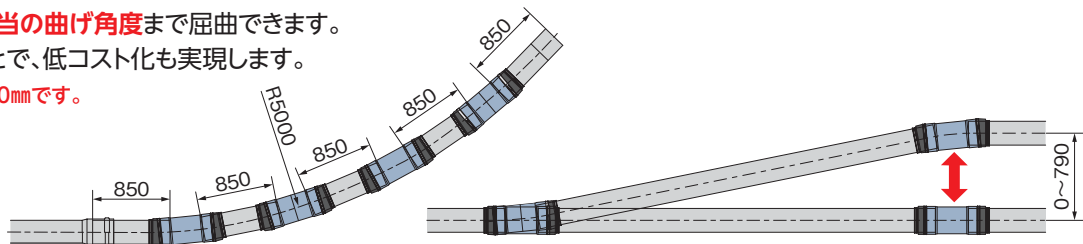


かんたん配管継手 品番 8085 NEW 呼び径100、150をラインナップ！

特長1 屈曲部の設計・施工が「かんたん」

直管と継手のみで**5mR相当の曲げ角度**まで屈曲できます。
曲管の使用を削減することで、低コスト化も実現します。

※継手間の最小短管長さは850mmです。



コスト比較			
呼び径	従来配管	かんたん配管継手使用例①	かんたん配管継手使用例②
	曲管×4本	かんたん配管継手×4個 直管850mm×4=3400mm	かんたん配管継手×2個 直管3825mm
100	100%	92%	62%
150	100%	92%	64%
200	100%	82%	59%
250	100%	82%	59%

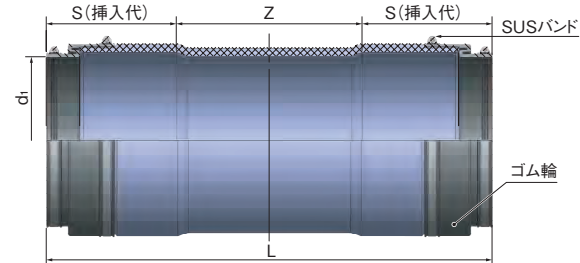
備考。材料費のみのコスト比較。材料費は当社設計積算価格(2023年7月)より試算。

特長2 曲げ角度の管理が「かんたん」

曲げ角度(想定角度) 標線ラベルがあるため、標線と管の印字を合わせることで、規定の角度までの目安がわかりやすく、曲げ過ぎを防止します。
※呼び径100、150はヤリトリ継手(中間継手)としても使用できます。



適用サイズと寸法



呼び径	d1	S(挿入代)	Z	L±10	参考質量(kg)
100	114.0	145	150	440	1.5
150	165.2	165	150	480	3.4
200	217.5	190	150	530	6.2
250	268.5	210	150	570	9.7

かんたんスライド管 品番 8714 NEW 呼び径150をラインナップ！

特長1 「かんたん」施工で50分以上の時間短縮

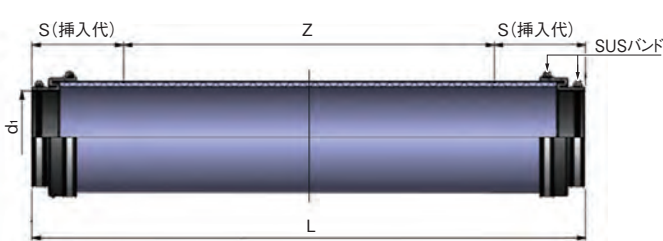
現行のスライド管と比べ、**50分以上***の時間短縮が可能です。
※呼び径250の自社測定結果。短縮効果は施工状況により変動します。

現行スライド管との施工比較	
[現行]のスライド管の施工イメージ 1 ボディ管の調整管の製作 スライド管を接合するため、端部はディスクグラインダー等で面取り加工する。(2カ所 22分) 2 スライド管と調整管の接合 挿入機をセットし、調整管にスライド管を接合する。(10分) 3 スライド管の最終接合 抜け防止用の挿入機をセットする。(10分) スライド管と調整管に挿入機をセットし接合する。このとき、管軸が合っていないと、挿入抵抗が大きくなりなかなか入らない。(15分)	[SUS バンド固定式スライド管]の施工イメージ 1 ボディ管の調整管の製作 面取り不要 2 スライド管と調整管の接合 挿入機を使わずともスムーズに挿入できる。 短縮時間 22分 3 スライド管の最終接合 抜け防止不要 挿入機を使わずとも挿入できる。SUSバンドを締付けて接合完了。2°以下の軸ずれも接合可能。 短縮時間 8分 短縮時間 10分 短縮時間 13分 50分以上の時間短縮ができる

特長2 管軸のズレも「かんたん」に施工

終点側の配管において、管軸のズレが生じていても**2°以下の曲げ**であればそのまま接合可能。曲管の使用率の高い市街地など、最終接続部の管軸がまっすぐならない場合に対応できます。

適用サイズと寸法



呼び径	d1	S(挿入代)	Z	L±15	参考質量(kg)
150	165.2	165	670	1000	9.1
200	217.5	190	620	1000	11.0
250	268.5	210	580	1000	16.0

～施工手順書(かんたん配管継手、曲げ配管編)～

接合手順

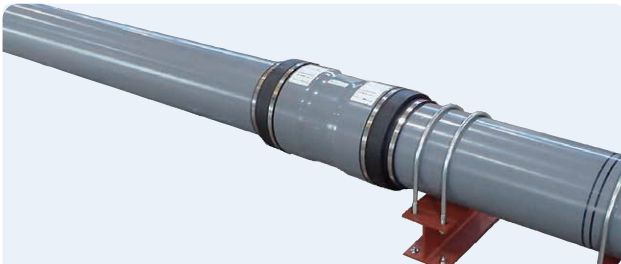
① 清掃



継手受口内面および管差口外面を乾いたウエスで清掃する。
管差口に標線を記入する。

※標線位置	φ100→145mm	φ200⇒190mm
	φ150→165mm	φ250⇒210mm

② 挿入



ボディ管内のさや管を接続後、かんたん配管継手にボディ管を挿入する。挿入は手挿入が可能。

※ボディ管の面取不要
(FA管は内面取必要)
滑剤不要

③ 固定

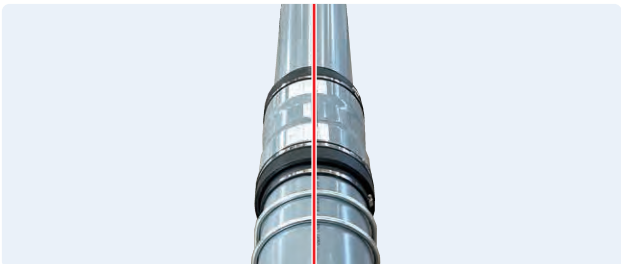


マイナスドライバーを使用し、写真赤丸部のSUSバンドを手締めで目一杯締付けて管を固定する。

※マイナスドライバー
参考長さ:150mm

曲げ手順

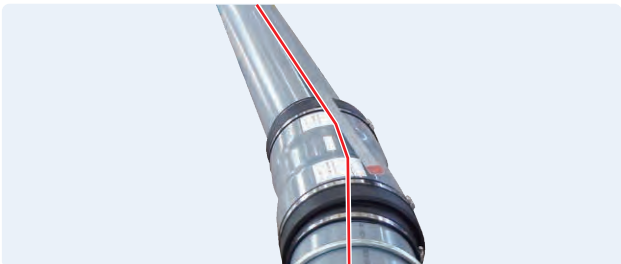
④ 確認



さや管が挿入されている管と継手が一直線であることを確認する。

※継手部の管頂ラインと管の管頂ライン(印字など)が一直線になるよう継手を配置する(回す)。

⑤ 曲げ



片側の管を固定し反対側の管を曲げて継手両側の角度を調整する。

※角度は(5mR相当)を超えないように注意する。
(シール参照)

⑥ シール確認



継手シール部の支点と管の管頂ライン(印字など)で曲げ角度を確認する。

※支点から管頂ラインまでの曲げ角度(目安)が最大曲げ角度範囲以内であることを確認し厳守する。最大曲げ角度は±5.7°。

- シールに表示している最大曲げ角度(5mR相当)以上に曲げないようにしてください。管・継手の亀裂・白化・変形などの原因になります。
- かんたん配管継手間の短管長さは、**850mm以下にしないでください**。曲率半径が5m以下となり、さや管の変形などの原因になります。
- SUSバンド締付けの際には、ゴム材とのたるみをとりながら片締めにならないように注意してください。
- ラチェット式レンチを使用する場合は、トルクが測定できるものを使用してください。マイナスドライバーよりも片締めになり易く、締付け過多になり易いので慎重に締付けてください。(参考締付けトルク3N・m)
- 電気工具での締め付けは、片締め、締付け過多になる恐れがあるため行わないでください。
- 曲げ配管施工後、埋戻し前に管の抜けが無いか標線を確認願います。

かんたんスライド管の施工手順はケーブル保護管カタログ(E00)でご確認ください。